

# 化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

後期

科目No.	155	科目名	化学物質総合管理学概論2	サブネーム	社会と企業における化学物質リスク管理の基礎2		
連携機関名	製品評価技術基盤機構・化学生物総合管理学会	レベル	中級	講義枠	土曜日	講義時間	10:00~11:30, 11:50~13:20
科目概要	化学物質のリスク評価の結果を受けて、必要な場合はリスク管理を行うことになる。化学物質のリスクを適切に管理する技術について、理念と技術評価の手法や製造プロセス転換への取り組みなど基本的事項の解説を行う。また化学物質管理の実践として、社会システムで規定されている諸規則を踏まえて各種業務を適切に実施していくための実務について論じる。						

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
化学物質リスク管理技術	1	化学物質総合リスク管理と科学・技術(総論)	化学物質総合管理に関する科学的知見と工業技術について、化学物質の製造・流通・使用・廃棄の各段階における暴露管理を中心として総括的に論じる。	10月6日	共通講義棟 1号館205	佐渡友秀夫	製品評価技術基盤機構
	2	フィジカルリスクとプロセス管理技術	火災・爆発危険性に関する科学的根拠とプロセス管理、輸送等の管理を中心とした技術について実務面から解説する。	10月6日		飯塚 義明	PHAコンサルティンク
	3	化学物質のリスク低減と化学工学(1)	化学物質の環境リスク低減に化学工学的考え方や手法は有用で着実に成果を上げており、その化学工学的考え方、アプローチ方法及び化学製品を製造・加工する現場で使われているプロセスシステム工学の手法について実例を示して解説する。	10月13日	共通講義棟 1号館302	佐渡友秀夫	製品評価技術基盤機構
	4	化学物質のリスク低減と化学工学(2)		10月13日			
	5	EVABATと化学物質リスク管理	経済的に利用可能な最適技術(EVABAT)の評価手法と適用技術について解説する。	10月20日	共通講義棟 1号館205	和田宇生	みずほ情報総研
	6	LCAと化学物質リスク管理	化学物質の製造から使用・廃棄に至る全サイクルにわたる管理を行うために必要なLCAの評価技術について解説する。	10月20日		永田裕子	みずほ情報総研
	7	情報リテラシーと化学物質管理	化学物質管理に関する情報ネットワーク・システム技術と情報管理技術の現状を踏まえた活用のあり方と情報リテラシーについて解説する。	10月27日	人間文化 602	佐渡友秀夫	製品評価技術基盤機構
	8	化学物質のリスク評価と管理	化学物質の初期リスク評価手法の開発、評価の実践を通して得られた成果について紹介、さらに評価結果を踏まえたリスク管理への展開について解説する。	10月27日			
化学物質リスク管理の実務	9	化学物質リスク管理の方法論	化学物質のリスクを認識し、経済的損失、社会的損失に分けてリスクを管理する手法を紹介する。	11月17日	共通講義棟 3号館103	横山泰一	製品評価技術基盤機構
	10	化学企業におけるリスク削減手法と評価	化学物質の製造企業で使用されているリスク原因解析の手法、リスク削減・回避対策の技術について解説する。	11月17日			
	11	消費者企業におけるリスク削減手法と評価	化学物質のユーザー企業が製造する消費者向け製品のリスク削減手法、製品設計の考え方およびその応用例について解説する。	11月24日	共通講義棟 1号館102	野口淳平	化学品リスクコミュニケーション研究所
	12	化学物質のリスク管理の実務例(1)	新規化学物質の申請・届出について、化学物質審査規制法および労働安全衛生法での申請・届出資料作成、審査、官報公示について解説する。	11月24日		吉岡 洋	製品評価技術基盤機構
	13	化学物質のリスク管理の実務例(2)	化管法・PRTR制度の概要と、届出書作成作業、届出データ整理・公表、公表データの入手、リスクコミュニケーション等への活用方法について解説する。	12月1日		苑田 毅	製品評価技術基盤機構
	14	化学物質のリスク管理の実務例(3)	MSDSの概要と、MSDSの作成作業、提供方法、活用方法、実際のMSDSを用いての読み取り方について解説する。	12月1日		吉岡 洋	製品評価技術基盤機構
	15	化学物質のリスク管理の実務例(4)	廃棄物処理法の概要と、廃棄物分類、廃棄物処理方法、廃棄物最終処分場、廃棄物処理管理票の作成作業などについて解説する。	12月8日	共通講義棟 3号館 3講202	石崎直温	日本化学工業協会

2007/9/14教室の決定。2007/10/19 11月17日の教室変更。